

同時資料配布先:

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

2023年2月15日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

2022年度 ALPS 国際シンポジウム
—グリーントランスフォーメーション GX の実現に向けて—
開催のご案内

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するかについて検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO₂ 回収貯留(CCS)、そして水素系エネルギー、そして大気中 CO₂ 回収技術(DAC)なども含め、様々な対策が必要と見られます。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション DX によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性もあります。グリーントランスフォーメーション GX 実現において、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

2022年度はロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー安全保障への懸念が高まり、改めて3E+Sの重要性が再認識された年となりました。また、コロナ影響から脱し、経済回復への動きも本格化しつつある中、GXの実現、環境と経済の好循環を目指した取り組みが始まってきています。

エネルギー需要サイドの取り組みについては、2022年4月に発表されたIPCC報告書でも、新たな章が設けられ焦点が当てられました。また、幅広い企業も取り組める機会も多く、重要な分野と考えられます。2022年度ALPS国際シンポジウムでは、エネルギー需要サイドの対策を含めながら、GX実現に向けた取り組みの現状、実現への課題について焦点を当て、また本研究事業の成果報告会を兼ねて開催します。本シンポジウムでは、欧米の著名な専門家による、世界のGX実現に向けた展望を様々な視点から紹介いただきます。また、国内の企業の方をお招きし、GXに向けた取り組みや課題認識についてご発表していただきます。目標実現のため、最新の研究成果や先進企業の取り組みを参考にさせていただききっかけの一つにしたいと考えますので多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)

共 催： 経済産業省(予定)

日 時： 2023年3月6日(月) 10:00-

会 場： WEB 配信およびイイノホール&カンファレンスセンター

プログラム：

10:00	開会挨拶	山地 憲治 RITE 理事長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	趣旨説明	秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
10:20	基調講演	Dr. Nebojsa Nakicenovic, Emeritus Research Scholar, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA) “需要サイドを含むエネルギー転換の展望(仮)”
11:00	講演	Dr. Diana Urge-Vorsatz, Professor, Co-Vice chair of the Central European University (CEU), IPCC WG3 Co-Vice chair “IPCC 第6次評価報告書の概要と建物部門の対策(仮)”
11:40	講演	Ms. Yasmine Arsalane, World Energy Outlook analyst, International Energy Agency (IEA) “World Energy Outlook 2022 の概要(仮)”
12:20	休憩	
13:20	講演	秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー “DX による低エネルギー需要社会と GX の実現の分析(仮)”
14:00	講演	Dr. Gregory Nemet, Professor of Public Affairs, University of Wisconsin-Madison “需要側技術のイノベーション(仮)”(ビデオ収録)
14:40	舞台転換	
14:45	パネル討論	「企業のトランジションを含むカーボンニュートラルへの取り組みと排出削減貢献」 モデレーター：山地 憲治 RITE 理事長 パネリスト： 岸本 道弘 様 (株)日立製作所 グローバル環境事業本部 理事 環境戦略ダイレクター 楠本 正治 様 パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株) 品質・環境本部 環境経営推進部 部長 竹ヶ原 啓介 様 (株)日本政策投資銀行 設備投資研究所 エグゼクティブフェロー 手塚 宏之 様 JFE スチール(株) 専門主監
16:15	講演	下田 吉之 RITE 理事 研究所長 “エネルギー需要側対策を中心とした GX の展望(仮)”
16:50	閉会挨拶	本庄 孝志 RITE 専務理事

2. 参加登録(参加費無料)

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.rite.or.jp/system/events/2023/02/alpsfy2022.html>

3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先

・シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ 山田、斎藤

TEL:0774-75-2304 FAX:0774-75-2317

・広報に関するお問合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 樋口、辰巳

TEL:0774-75-2301 FAX:0774-75-2314 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

2022年度 ALPS 国際シンポジウム

グリーントランスフォーメーションGXの 実現に向けて

FY2022 ALPS International Symposium — For achieving green transformation GX —

2023年3月6日(月) 10:00～(受付開始 9:30)
WEB配信 + イイノホール

主催 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 共催 経済産業省 (予定)

同時通訳あり
参加料無料

ごあいさつ

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization) を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するかについて検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO₂回収貯留(CCS)、そして水素系エネルギー、そして大気中CO₂回収技術(DAC)なども含め、様々な対策が必要と見られます。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーションDXによって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性もあります。グリーントランスフォーメーションGX実現において、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

2022年度はロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー安全保障への懸念が高まり、改めて3E+Sの重要性が再認識された年となりました。また、コロナ影響から脱し、経済回復への動きも本格化しつつある中、GXの実現、環境と経済の好循環を目指した取り組みが始まってきています。

エネルギー需要サイドの取り組みについては、2022年4月に発表されたIPCC報告書でも、新たな章が設けられ焦点が当てられました。また、幅広い企業も取り組める機会も多く、重要な分野と考えられます。2022年度ALPS国際シンポジウムでは、エネルギー需要サイドの対策を含めながら、GX実現に向けた取り組みの現状、実現への課題について焦点を当て、また本研究事業の成果報告会を兼ねて開催します。本シンポジウムでは、欧米の著名な専門家による、世界のGX実現に向けた展望を様々な視点から紹介いただきます。また、国内の企業の方をお招きし、GXに向けた取り組みや課題認識についてご発表していただきます。目標実現のため、最新の研究成果や先進企業の取り組みを参考にさせていただききっかけの一つにしたいと考えますので多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長 山地 憲治

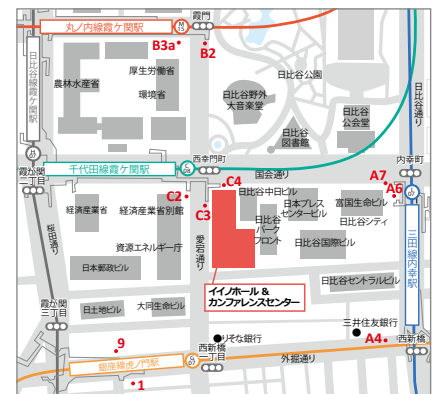
お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
システム研究グループ
〒619-0292 京都府木津川市木津川台9-2
E-mail: alpssympo@rite.or.jp
TEL: 0774-75-2304

会場ご案内

イイノホール&カンファレンスセンター

- 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号
- 「霞ヶ関駅」C4出口直結
 - 「新橋駅」徒歩10分
 - 「虎ノ門駅」9番出口徒歩3分
 - 「内幸町駅」A7出口徒歩3分



プログラム

- 10:00 開会挨拶 山地 憲治 (RITE 理事長)
- 10:05 来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局
- 10:10 趣旨説明 秋元 圭吾 (RITE システム研究グループ グループリーダー)
- 10:20 基調講演 Dr. Nebojsa Nakicenovic (Emeritus Research Scholar, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA))
「需要サイドを含むエネルギー転換の展望 (仮)」
- 11:00 講演 Dr. Diana Urge-Vorsatz (Professor, Co-Vice chair of the Central European University (CEU), IPCC WG3 Co-Vice chair)
「IPCC 第6 次評価報告書の概要と建物部門の対策 (仮)」
- 11:40 講演 Ms. Yasmine Arsalane (World Energy Outlook analyst, International Energy Agency (IEA))
「World Energy Outlook 2022 の概要 (仮)」
- 12:20 休憩
- 13:20 講演 秋元 圭吾 (RITE システム研究グループ グループリーダー)
「DX による低エネルギー需要社会とGX の実現の分析 (仮)」
- 14:00 講演 Dr. Gregory Nemet (Professor of Public Affairs, University of Wisconsin-Madison)
「需要側技術のイノベーション (仮)」(ビデオ収録)
- 14:45 パネル討論「企業のトランジションを含むカーボンニュートラルへの取り組みと排出削減貢献」
モデレーター: 山地 憲治 (RITE 理事長)
パネリスト: 岸本 道弘 様 ((株)日立製作所 グローバル環境事業本部 理事 環境戦略
ダイレクター)
楠本 正治 様 (パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株) 品質・
環境本部 環境経営推進部 部長)
竹ヶ原 啓介 様 ((株)日本政策投資銀行 設備投資研究所 エグゼクティ
ブフェロー)
手塚 宏之 様 (JFE スチール (株) 専門主監)
- 16:15 講演 下田 吉之 (RITE 研究所長)
「エネルギー需要側対策を中心としたGX の展望 (仮)」
- 16:50 閉会挨拶 本庄 孝志 (RITE 専務理事)

※当日、会場での講演資料の配布はございません。WEB 上で随時公開しますのでご覧ください。

お申し込み

申込締切 2月 27日(月)

下記サイトからお願いします。

<https://www.rite.or.jp/system/events/2023/02/alpsfy2022.html>

ご参加の流れ

WEBから申込

申込直後
参加受付
完了メール

開催日数日前
参加案内メール

シンポジウム開催
(3/6)



- ・会場での対面開催とWEB 配信を合わせたハイブリッド方式にて開催いたします。ご希望の参加形式をお選びください。なお新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員数を限定させていただきます。一定数になりましたら会場参加申込を締め切らせていただきます。
- ・ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。ご不要の方は、申込時にその旨をお知らせください。